

おかしいでしょ！9条があってこの軍拡

軍拡の実態その1 軍事予算

2018年防衛＝軍事予算過去最大!
本予算5兆1911億円+補正予算2345億円
= 5兆3596億円

問題点1 調達方法

1: 補正予算

イージス・アショア、ミサイル防衛費などを本予算と補正予算とダブルで計上

2: FMS (有償軍事援助)

米国から兵器を導入するとき購入ではなく有償の軍事援助という形をとる。日米両政府間取引。第2次安倍政権以降の5年でそれまでの約4・5倍。

FMSで導入

オスプレイ 1機114億円×17機

F35 1機147億円×42機

グローバルホーク 189億円×3機

イージス・アショア 1機800億円×2機

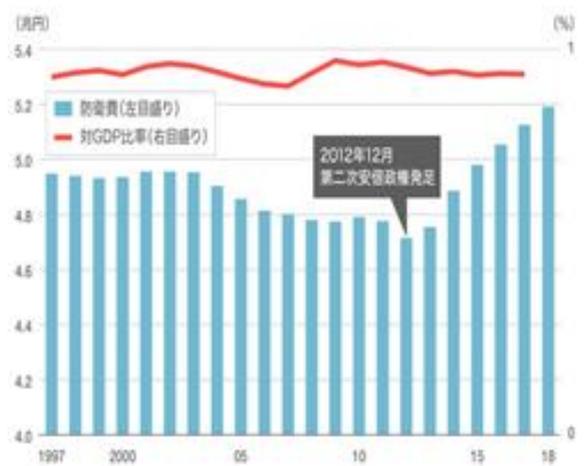
のはずが2機4000億円に!

○米国の言い値、○価格不透明

3: 後年度負担

最長10年の「ローン方式」。18年度予算では17年度以前の契約に基づく後払いが1兆7590億円(34%)、後年度に約2兆円の負担。

日本の防衛費の推移



政府予算資料をもとに編集部作成

©nippon.com

問題点2 敵基地攻撃兵器の導入

「日本版トマホーク」の研究費。3種類の長射程ミサイルの購入(22億円)

JSM (ノルウェー・コングスベルグ社、射程500km F35Aに搭載予定)

JASSM-ER・LRASM (ロッキード・マーチン社 射程900km

F15を改修し搭載予定)

攻撃型空母の保有に向けて

「新種航空機の運用」の調査研究

攻撃的兵器不保持の原則が維持できない
場合、戦力統制という9条2項の持つ意義
は消失し、再現のない軍拡が可能となる。
(木下昌彦・神戸大准教授)